

令和 7 年度 計算関係書類及び財産目録、事業報告

【計算関係書類】

①法人単位	P 1	～	P 17
②附属明細書	P 18	～	P 25
③財産目録	P 26		
④法人本部	P 27	～	P 34
⑤早良厚生園	P 35	～	P 55
⑥四箇厚生園	P 56	～	P 70
⑦白糸農園	P 71	～	P 98

【事業報告】

①早良厚生園事業報告	P 99	～	P 113
②四箇厚生園事業報告	P 114	～	P 127
③白糸農園事業報告	P 128	～	P 148

令和7年度 早良厚生園 事業報告（案）

1. 基本方針

令和7年度、当施設では、利用者様の高齢化が一層進む中、人生の終焉に向けた支援のあり方を具体化することを大きな柱に、日々の支援と施設運営に取り組みました。今年度は、2名の利用者様が病院で亡くなられ、1名の利用者様が病院に付設する療養施設へ転籍されるなど、加齢に伴う心身の変化や医療的支援の必要性に、これまで以上に向き合う一年となりました。そうした現実を受け止めながら、最期までその人らしく過ごしていただくために、私たちにできる支援を一つずつ形にしていく大切さを改めて感じました。

また、利用者様の暮らしを支えるうえでは、終末期に向けた支援だけでなく、元気なうちから希望や思いを整理し、安心して日々を過ごせる環境を整えることも大切です。本人の思いや価値観に寄り添いながら、将来を見据えた支援の土台づくりを進めました。

早良 BASE（就労 B 型）では、リサイクル作業終了の影響が残る中、新たな作業の柱づくりが大きな課題となりました。枝豆作業は、参加農家の増加に加え、福岡市や JA 福岡市との連携により機械化が進み、作業量拡大に向けた道筋が見え始めています。また、地域農家の協力を得ながら米作りにも試験的に取り組み、地域とつながる新たな仕事づくりを進める一年となりました。

さらに、共同生活援助事業（グループホーム）においては、1人職場という事業特性もあり、職員が孤立しやすい側面があることを改めて認識しました。職員が安心して相談でき、支え合える体制を整えることは、利用者様への安定した支援にもつながります。今後は、職員が一人で抱え込まないよう、管理者として適切に関わりながら、相談しやすく支え合える体制づくりを進めます。

このように、令和7年度は、利用者様の高齢化への対応、将来を見据えた意思確認支援の土台づくり、新たな就労支援の展開、そして職員が安心して働ける体制整備に取り組んだ一年でした。昨年度から掲げてきた重点目標を継続しながら、少しずつ形にし、定着につなげることを意識しました。次年度も、それぞれの取組を着実に積み重ね、支援と運営の安定につなげてまいります。以下、5つの重点目標について、その進捗と取組内容を報告いたします。

（1）人生の終焉に向けた方向性の確立

利用者様の高齢化が進む中、人生の終焉に向けた支援を具体化するため、今年

度はアセスメントの整理と意思確認の仕組みづくりを進めました。アセスメントは一定の形を整え、早良厚生園版エンディングノート（つむぐノート）についても、準備段階から実際の運用へ進めることができました。現時点では全員分の完成には至っていませんが、作成のペースを上げながら、利用者様一人ひとりの思いや希望をより丁寧に形にしていきます。

加えて、緊急時等の治療に関する事前確認書についても活用を始め、運用を通して見えた課題は、その都度見直しながら改善を進めています。実際に、保護者と連絡が取れず手術の判断が難しい場面で、この事前確認書に基づいて緊急手術につなげることができた事例があり、事前確認の重要性と有効性を確認しました。

（２）生産性の向上の取組

属人化業務からの脱却については、当初、役職者への理解や浸透に時間を要し、思うように進まない面もありました。しかし年度後半には、若い役職者を中心に趣旨を理解し、スピード感を持って取り組む場面が増えてきました。業務標準化、ルール・マニュアルの作成と運用、整理整頓の指導にも取り組み、「個人で抱える業務」から「仕組みで回す業務」へ、少しずつ意識が変わり始めています。まだ道半ばではありますが、組織として成長するための大切な一步になったと考えています。

（３）社会貢献活動・地域貢献活動への取組

地域の方々の買い物支援については、継続して取り組みました。加えて今年度は、さわら台団地内における小学生向けの交通立哨活動にも新たに取り組んでいます。この活動は、管理職からの指示ではなく、職員からの提案によって実施につながったものであり、地域と関わる姿勢が職員の中にも育ってきていることを感じる実践となりました。

地域との関係づくりを一方的な支援にとどめず、互いに支え合える関係へとつなげていくうえでも、意義のある取組であったと考えています。

（４）人材育成

人材育成では、Eラーニング教材を増やし、内部研修の充実を図りました。必要な内容を職員が学びやすい形で整備することで、園内研修の幅を広げることができました。

また、「教える」文化については、誰かの経験や感覚だけに頼るのではなく、業務や考え方を形にして引き継ぐ意識が、属人化からの脱却とあわせて少しずつ根づいてきました。今後も、職員一人ひとりの良さを活かしながら、組織として

育て、支え合い、引き継いでいける体制づくりを進めます。

(5) 後見人制度の理解と普及促進

後見人制度の理解と普及促進については、今年度は思うように進めることができませんでした。利用者様やご家族の将来を考えるうえで重要な課題であることに変わりはありません。まずは制度の目的や必要性を職員間で整理し、ご家族への説明や相談につなげられるよう、次年度の課題として丁寧に取り組みます。

2. 支援目標

(1) 日中活動サービス事業

【生活介護事業（ぬくもり）】定員：50名 現在員：47名

生活介護においては、利用者様の高齢化が進む中、心身の状態や生活歴、ご本人の思いを踏まえ、安心して過ごしていただける環境づくりに努めました。体調や身体機能の維持に配慮しながら活動を提供する中で、加齢や終焉に向かう生活の過程においても、ご本人が満足感や充実感を持って過ごせる支援のあり方について、改めて課題が見えてきました。

ADLの維持に加え、日々の楽しみ、役割、達成感につながる活動をどう提供するかという視点の重要性を再認識しました。ご本人にとって意味のある時間となるよう、活動内容や支援方法の検討を進めています。

また、ご本人が「早良厚生園で過ごしてきて良かった」と感じていただける支援につなげるため、基盤となる「つむぐノート」の整備を進めました。1年をかけて基盤となる形を整え、数名の利用者様については完成までつなげることができました。

ご本人の歩みや大切にされてきた思いを整理し、職員間で共有することは、日々の声かけや関わりを深めるうえで重要な取組です。今後は、つむぐノートの活用をさらに進め、ご本人の思いや希望に寄り添った支援を積み重ねながら、終焉に向かう生活の中でもQOLの向上につながる活動の充実を図ります。

【自立訓練事業（生活訓練）翔】定員：6名 現在員：1名

令和7年度の自立訓練（生活訓練）においては、利用者一人ひとりの将来を見据えた支援を基本とし、生活力の向上および社会参加に向けた基盤づくりに取り組みました。

日々の支援では、生活習慣の確立や対人関係の形成に加え、今後の移行を見据えた就労への意識づくりにも努めています。

また、令和8年度には新たに2名の利用開始があり、その中には特別支援学

校高等部 1 年時より継続的に見学を重ねていた利用者も含まれています。特別支援学校在学中の保護者からの問い合わせも増加傾向にあり、PTA 主催の校内説明会へ参加する機会をいただくなど、学校・保護者層への周知が少しずつ進んでいます。

一方で、家庭環境の多様化やニーズの複雑化も見受けられ、より丁寧で個別性の高い支援が求められています。

今後も、利用者およびご家族のニーズを的確に把握し、2 年後の進路を見据えた支援を継続することで、自立した生活の実現と次段階への円滑な移行につなげます。

【居宅支援事業（日中一時支援・短期入所）】

令和 7 年度の居宅支援事業においては、利用者様のご利用は年間を通して安定しており、ニーズに応じた受け入れを継続することができました。ご本人やご家族の要望、相談支援事業所からの相談を踏まえ、その時々状況に応じて、必要時に安心して利用できる場としての役割を果たすことができたと考えています。

また、利用者様にとって気軽に利用できる場所、安心して休息できる場所としての機能を維持し、継続利用につながるよう支援を行いました。一方で、荷物の受け渡しでは、渡し忘れ等によりご迷惑をおかけする場面があり、確認体制に課題が残りました。今後は、荷物の受け入れ・受け渡しの手順を見直し、確認手順の明確化やシステム化によりミスの防止に取り組みます。

次年度も引き続き、利用者様やご家族のニーズに応じた柔軟な受け入れを行い、安心して利用していただける場づくりに努めます。

（2）施設入所支援事業 定員：50 名 現在員：47 名

施設入所においては、24 時間 365 日、利用者様が安心して暮らしていただけるよう、健康と安全を第一に支援を継続しました。令和 7 年度は、高齢化や医療的配慮の必要性が一層高まる中、人生の終焉に向けた支援を日常の延長線上にあるものとして捉え、ご本人らしい生活をどう支えていくかを強く意識した一年となりました。

その一環として、「つむぐノート」の基盤整備と運用を開始し、ご本人の歩みや大切にされてきた思いを把握し、支援に活かすための土台づくりに取り組みました。また、緊急時等の治療に関する事前確認書についても活用を進め、実際の対応を通して改善すべき課題を確認しました。

施設入所では、利用者様が日々の暮らしの中で安心感を持って過ごせるよう、

生活の質の維持にも努めました。日中活動で得られた情報や、つむぐノートを通して見えてきたご本人の思いを職員間で共有し、落ち着いて過ごせる生活づくりを意識した支援を行いました。

高齢化に伴い、身体面だけでなく精神的な安定や安心感の確保が、これまで以上に重要となっています。今後も、ご本人が住み慣れた環境の中で、その人らしく穏やかに過ごしていただけるよう、日々の積み重ねを大切にした支援に努めます。

(3) 共同生活援助（さわら本舗） 定員：11名 現在員：10名

令和7年度の共同生活援助事業においては、「自分の暮らしは自分でつくる」という考え方のもと、「じ・く・る」を意識した支援を行いました。利用者様一人ひとりの思いや希望を尊重しながら、その人らしい暮らしの実現に向けた関わりを重ねることができたと考えています。

就労面では、1名が転職され、さらに1名から転職の希望が聞かれるなど、将来の生活や働き方に対する意識の変化が見られました。それぞれの意向に沿いながら、本人主体の生活設計につながる支援を進めました。

また、こすもすホームで継続していた欠員については、新たな利用者様を迎えることができ、欠員の解消につながりました。新たな仲間を含めたホーム全体の生活を支えながら、一人ひとりに対して丁寧な支援を継続しました。

今後も、利用者様が地域の中で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう、個々のニーズに応じた支援の充実と、安定した支援体制づくりに努めます。

(4) 指定特定相談支援事業（あらひら）

当該年度は、計画更新時期を迎える利用者様が多数おられたため、サービス等利用計画の早期作成に努め、滞りなく更新手続きを進めました。

モニタリングから担当者会議、サービス等利用計画案の作成に至るまで、利用者様と直接面談を行い、生活状況や課題の確認に努めました。その中で、現在のニーズや今後の生活への展望に着目し、個々の状況に応じた計画策定を進めることができました。

また、更新対象ではない利用者様についても、可能な限り面談等の機会を設け、状態確認とモニタリングを実施しました。現行のサービス等利用計画が適切に機能しているか、支援内容との不調和が生じていないかを確認し、必要に応じて今後の支援方針の検討につなげました。

(5) 早良BASE（就労継続支援B型）定員：20名 現在員：18名

令和7年度、早良BASE（就労継続支援B型）では、地域農家より委託された

枝豆作業が本格的に始動し、福岡市・JA 福岡市・農家と連携しながら、県の補助金を活用した機械化を進めました。これにより、工賃向上に向けた基盤整備が進んでいます。

また、これらの取組を通じて、早良 BASE の作業能力が地域農家から評価され、ニンニクの播種作業や畑の除草作業など、施設外就労の機会も増加しました。さらに、11 月には人参の洗浄・選別・箱詰め作業の相談があり、補助金を活用した機器導入に向けて準備を進めています。

農福連携の取組を基盤に、地域との連携強化と新たな作業機会の創出につながった一年となりました。

今後も、利用者一人ひとりの障がい特性に応じた作業提供を行い、それぞれの力を発揮できる事業所運営を目指します。

3. 医務支援報告

今年度の業務目標に沿って、以下のとおり実施しました。

(1) 利用者様の健康管理

5 月と 10 月に健康診断を実施し、利用者様の健康状態の把握および必要な再検査につなげました。

また、嘱託医による定期訪問診察や訪問歯科診療の調整、診療時の介助、支援員への口腔ケア指導等を行い、口腔ケアの維持に努めました。

かかりつけ医への定期受診及び臨時通院は昨年度より増加傾向にあり、入院件数は 21 件でした。内訳は肺炎関連 6 件、骨折関連 4 件、心不全 2 件、精神状態関連 2 件、尿路感染症 1 件、その他 6 件であり、高齢化に伴い発症しやすい疾患による入院が増加しています。

予防接種については、11 月に希望者を対象としてインフルエンザワクチンおよびコロナワクチンの接種を実施しました。肺炎球菌ワクチンについては、接種時期やワクチンの種類、副反応等について検討を重ねた結果、今年度の接種は見送ることとなりました。一方で、毎年帯状疱疹を発症される利用者様もおられるため、今後も接種に向けた調整を継続してまいります。

さらに、栄養士との情報共有や看護師の視点からの情報提供・意見交換を行い、利用者様の栄養管理にも努めました。

(2) 感染予防策

季節や地域の感染状況に応じて、園内及び外出時のマスク着用を実施するとともに、日々の手洗い・手指消毒の徹底について指導を行いました。

全職員が日常的に感染予防対策に取り組んだ結果、利用者様複数名に感染性

の発熱がみられることはありましたが、今年度はインフルエンザやノロウイルス等の感染・流行を防ぐことができました。

次年度も引き続き、感染予防対策の徹底に努めてまいります。

（３）職員の労働衛生管理

毎月、労働安全衛生管理委員会を実施しました。５月には全職員を対象とした健康診断、１０月には夜勤職員を対象とした健康診断を実施し、再検査が必要な職員には受診勧奨を行うなど、職員の健康管理に努めました。

また２月から３月にかけてストレスチェックを実施する予定です。

以上の取り組みにより、利用者様の健康維持・向上、感染症予防、および職員の安全衛生管理に努めることができました。

４．給食業務重点目標結果報告

令和７年度も、利用者様の健康管理を重視し、給食委託業者と連携しながら、栄養面・食材・調理方法等を検討し、安全で安心な食事提供に努めました。

【衛生管理】

従事者の衛生管理や原材料の取り扱いについては、委託業者の社内規則に基づき、適切な管理を徹底し、食中毒予防に努めました。

【給食会議】

隔月で、利用者様や現場支援員からの意見を取り入れながら、委託業者との給食会議を実施しました。美味しさや食べやすさを重視したメニュー改善や、提供方法の見直し等について協議しました。

【栄養管理】

毎日の食事を楽しみの一つとしていただけるよう、季節感やメニューの豊富さを大切にし、利用者様一人ひとりに適した、安全で美味しい食事の提供に努めました。

また、利用者様の健康状態・食事摂取状況・嚥下機能の状態について、多職種で定期的に話し合う機会を設け、栄養ケアマネジメントと並行しながら健康管理に努めました。

感染症流行時には、委託業者と協力し、密集を避けるために食事時間を調整するなどの工夫を行い、感染拡大防止に努めました。また、使い捨て食器は常時１週間分を備蓄し、劣化が見られた調理器具や食器類は随時更新するなど、非常時への備えの充実を図りました。

以下、2025年度、職員の異動状況、利用者状況、行事实績、研修参加報告については別紙となります。

1. 令和7年度 職員異動状況
(1)職員異動状況

令和8年3月31日現在

	期首	採用・異動等	退職・異動	期末
施設長	1	0	0	1
事務員	6	0	0	6
支援員他	43	7	5	45
看護師	2	0	1	1
栄養士	1	0	0	1
G・H世話人	3	0	0	3
計	56	7	6	57

(2)退職・異動

支援員	真子しのぶ	令和7年	6月30日付	支援員	永峰朋子	令和7年	8月31日付
支援課長	牛尾政文	令和8年	3月31日付(異動)	支援員	樋口順子	令和8年	3月31日付
看護師	林貴美子	令和8年	3月31日付(定年退職)				

(3)採用・異動

支援係長	渡邊心平	令和7年	4月1日付(異動)	支援主任	古賀琢也	令和7年	4月1日付(異動)
支援員	池正剛	令和7年	4月1日付	支援員	竹下亜衣	令和7年	4月1日付
支援員	福田真鈴	令和7年	4月1日付	支援員	緒方麻美	令和7年	4月14日付
支援員	小松美紗	令和7年	8月1日付				

2. 利用者状況

(1)施設入所支援利用者年齢状況

令和8年3月31日現在

年齢別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計	平均年齢
男性	0	0	1	2	5	9	7	3	27	65.3
女性	0	0	1	0	2	10	2	4	19	67.4

(2)施設入所支援利用者障がい支援区分

区分	3	4	5	6	合計
男性	1	6	12	8	27
女性	0	2	9	9	20
計	1	8	21	17	47

(3)施設入所支援利用者所在期間

期間	1年未満	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	1	3	4	1	1	2	0	0	1	0

.....

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	5	0	0	0	1	0	0	1	1	2

21	22	23	24	25	26	27	28以上	平均所在期間
2	0	0	1	0	1	0	19	20.0

(4)ぬくもり(生活介護)利用者異動状況

	期首	入所	退所	期末
男性	27	1	1	27
女性	22	0	2	20
計	48	1	3	47

(5)早良BASE(就労継続支援B型)利用者異動状況

	期首	入所	退所	期末
男性	15	1	1	15
女性	2	1	0	3
計	17	2	0	18

(6)翔(自立訓練)利用者異動状況

	期首	入所	退所	期末
男性	1	0	0	1
女性	0	0	0	0
計	1	0	0	1

(7)さわら本舗(共同生活援助)利用者状況

ホーム名	現在員	性別	開設日	備 考
第一田隈ホーム	4	男性	平成16年1月1日	就労継続支援B型2名、生活介護1名、他事業所1名
こすもすホーム	6	女性	平成16年12月1日	就労継続支援B型3名、他事業所3名

2025年度 研修参加職員

開催日	主題	主催	参加者	場所
4/1～	法人新人研修	悲田院人事部	池・竹下・福田	各事業所
5/12	法人新人研修(2か月目)	悲田院人事部	池・竹下・福田	SunSun
5/21・22	新任職員研修	福岡県社会福祉協会	池・竹下・福田	クローバープラザ
6/5	職員基礎研修	福岡県知的障がい者福祉協会	池・竹下・福田	博多バスターミナル大ホール
6/10・11・12	強度行動障がい支援者養成研修(基礎・実践)	(株)エイドケアカレッジ博多校	渡邊	オンライン研修
6/17	見て・聞いて・学ぼう！強度行動障がいの支援	障がい者地域生活・行動支援センターか〜む	井上	行動支援センターか〜む
6/18	施設間研修	福岡県知的障がい者福祉協会	施設長	ホテルニューオータニ
6/25・26	CareTEX福岡	ブティックス(株)	施設長・古賀琢・林貴・浦川	マリンメッセ福岡
6/26	経営者セミナー研修	経営協	施設長・事務長	九州ビル
6/30	法人新人研修(3か月目)	悲田院人事部	池・竹下・福田	四箇・西九州大学
7/23	高度の重度障がいのある方々の暮らしを支える	福岡市民間障がい施設協議会	施設長渡邊・古川・高岡	福岡市舞鶴庁舎
7/26	九州地区地域生活者交流会	九州地区知的障害者福祉協会	原	ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
7/29	法人新人研修(4か月目)	悲田院人事部	池・竹下・福田	早良厚生園
7/29	複合課題に「気づき・つながる」研修	福岡市福祉局生活福祉部地域包括ケア推進部	池・竹下・福田	天神ビル10号会議室
8/4	てんかん総合講座	公益社団法人日本てんかん協会福岡県支部	古賀彩・北川・竹下・福田	博多市民センターホール
8/4	工賃向上・意識改革セミナー	福岡市	古本	オンライン研修
8/5・6	社会福祉法人人事・労務管理講座	経営協	施設長	オンライン研修
8/6	給食施設従事者研修会	福岡市保健所	浦川	オンライン研修
8/7	組織マネジメント研修	福岡市民間障がい施設協議会	渡邊	ふくふくプラザ
8/7	安全運転管理者講習		施設長	オンライン研修
8/18	生活介護部会	福岡市民間障がい施設協議会	事務長・富永・禪院	福岡市舞鶴庁舎 小研修室
8/20	福祉避難所に関する情報交換会		施設長・牛尾課長	とめてらす早良
8/28	オーラルフレイル研修	福翔株式会社	田中竜・浦川	福岡県歯科医師会館
8/28	法人新人研修(5か月目)	悲田院人事部	池・竹下・福田	四箇厚生園
8/29・30	サービス管理責任者実践研修	福岡県社会福祉士会	古本	電気ビルみらいホール
9/24	ティーチング研修	福岡県社会福祉協議会	福本・禪院・樋口順	オンライン研修
9/24	BLS プロバイダーコース	American heart association	佐藤	福岡博多トレーニングセンター
9/26	法人新人研修(半年)	法人人事部	池・竹下・福田	白糸農園
9/30・10/2	会計担当者研修	福岡県社会福祉協議会	樋口美	クローバープラザ
10/2・3	九州地区知的障害関係施設長等研修大会	九州地区知的障害者福祉協会	施設長・事務長・渡邊	鹿児島サンロイヤルホテル
10/10	法人2年目研修	法人人事部	北川	四箇厚生園
10/11	AI初心者セミナー AIが分かる基本のキ	早良商工会	古本・舟木	入部公民館・早良公民館
10/17	障がい福祉現場の人材確保・育成・定着について	福岡市民間障がい施設協議会	渡邊・高岡	ふくふくプラザ
10/20	障がい者支援施設部会研修会	九州地区障害者支援施設部会	浦川	熊本県民交流館
10/27	人材確保・育成・定着セミナー	福岡市民間障がい施設協議会	施設長・高岡	ふくふくプラザ
10/27	「報・連・相」強化研修	福岡県社会福祉協議会	渡邊・田中竜	クローバープラザ
11/5・6・7	リスクマネージャー養成研修会	日本知的障害者福祉協会	渡邊	TOC有明コンベンションホール
11/6	法人中途3・4年目研修	法人人事部	舟木・有動・平井	福岡市立ももち文化センター
11/6	給食施設従事者研修会	福岡市保健所	浦川	オンライン研修
11/6	福祉用具セミナー・展示会	福岡県介護実習・普及センター	古川・樋口順・北川	クローバープラザ
11/6・7	施設間交流会	福岡県知的障がい者福祉協会	施設長・事務長	第一たちばな学園
11/7	福岡地区職員研修会	福岡県知的障がい者福祉協会	古川・竹下・福田	ふれあい貸し会議室天神
11/7	会計担当者研修 実践者コース	福岡県社会福祉協議会	山田	クローバープラザ
11/7	法人3年目研修	法人人事部	井上・木村・古賀彩	早良厚生園

11/11	入所者の診療の取り扱いに関する研修		施設長	オンライン研修
11/28・29	サービス管理責任者実践研修	福岡県社会福祉士会	田中竜	電気ビルみらいホール
12/8	ほめるコミュニケーション ほめ達！セミナー	早良商工会	渡邊・高岡	早良商工会
12/9	県知障協研修	福岡県知的障がい者福祉協会	施設長	オリエンタルホテル
12/12	人権啓発推進研修		施設長	あいれふ
12/14	強度行動障がい児への取り組みについて考える会	福岡市強度行動障がい者支援研修事業	渡邊	福岡舞鶴庁舎
12/17	社会福祉法人経営者セミナー	福岡県社会福祉法人経営者協議会	高岡	九州ビル
12/17・18	障害者支援施設部会 全国大会 東海地区 愛知大会	日本知的障害者福祉協会	施設長・田中竜・富永・井上	ヒルトン名古屋・ウインク愛知
12/27	社会福祉施設衛生講習会	福岡市保健所	浦川	オンライン研修
1/15	接遇マナー向上研修会	福岡県社会福祉協議会	原・田中理	クローバープラザ
1/28	広報力強化研修	福岡県社会福祉協議会	大澤	クローバープラザ
1/29	人事考課評価システムの構築による人材定着の未来	福岡市民間障がい施設協議会	施設長	ふくふくプラザ
2/11	給食施設従事者研修会	福岡市保健所	浦川	オンライン研修
2/17・18	九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会	九州地区障害者福祉協会	渡邊・田中竜・福本	レンブラントホテル大分
2/19	早良区の防災と被災時について考えたいのです	福岡市障がい者等地域生活支援協議会早良区部会	牛尾課長・田中竜・浦川	ともてらす早良
2/24	特性のある方々への性教育	福岡市民間障がい施設協議会	施設長・舟木	ふくふくプラザ
2/25	説明力向上研修	福岡県社会福祉協議会	渡邊・古賀琢	オンライン研修
2/27	法人B/S職員研修	法人人事部	竹下・福田	四箇厚生園
2/27	早良区部会	福岡市民間障がい施設協議会	施設長・古本	ももち福祉プラザ
3/6	給食施設従事者研修会	福岡市保健所	浦川	福岡市早良市民センター
3/13	社会福祉法人の存在義務と経営戦略	経営協	施設長	九州ビル
3/16	AIを活用して人生100年時代の社会課題を解決する仲間を探そう！	福岡100ラボmeet up	渡邊	福岡市民ホール
3/24	令和8年度障害福祉サービス等報酬改定について	施設長研修	施設長	九州ビル
3/24・25	サービス管理責任者更新研修	東北福祉カレッジ	牛尾課長	オンライン研修

令和7年度 年間行事実施報告

早良厚生園(ぬくもり)・早良BASE・翔・さわら本舗

【ぬくもり】

月	行事名	備考
4	4/23(水)歓迎会LIVE	4/1(火)新人職員入職式 ＜四箇厚生園＞
5	5/23(金)どんたく祭り	5/9(金)健康診断 5/24(土)優良従業員表彰式典 5/30(金)土砂災害訓練
6	6/20(金)アート展	
7	7/20(日)夏祭り(保護者招待イベント)	
8	8/7(木)日帰り旅行(観劇コース) 8/9(土)観劇(希望者のみ)	
9	9/7(日)野球観戦(希望者のみ) 9/12(金)日帰り旅行(まつりコース) 9/17(水)敬老無限ハンバーグ祝賀会 9/18(木)日帰旅行(BBQコース) 9/21(日)早良厚生園40周年記念式典	9/12(金)避難訓練(ぬくもり) 9/13(土)重留夏祭り
10	10/9(木)日帰り旅行(BBQコース) 10/21(火)日帰り旅行(遊園地コース) 10/21(火)日帰り旅行(海響館コース) 10/31(金)ハロウィン	10/2(木)健康診断 10/23(木)健康診断(夜勤者)
11	11/12(水)日帰り旅行(宴会コース)	11/18(火)インフルエンザ予防接種 11/29(土)人権フェスタ
12	12/10(水)クリスマスチャリティー公演(ぬくもり希望者のみ) 12/25(木)クリスマス会	12/21(日)永年勤続表彰式
1	1/9(金)新年会	1/5(月)飯盛神社祈願(職員のみ)
2	2/3(火)節分会 2/5(木)・12(木)食事会(さんぞくや) 2/19(木)・26(木)食事会(ブルシエール)	2/15(日)避難訓練
3	3/3(火)ひな祭り会 3/31(火)お別れ会食会	

※毎月、工賃日(5日)にテイクアウトにて食事会を実施。園外活動時(外食)は除く。

※毎週土曜日はフレイル予防体操実施。

※第1・3 火曜日は地域活動支援(さわら台団地買い物支援)実施。

【早良BASE・翔】

月	行事名	備考
4	4/7(月)お花見(甘木公園)	4/20(日)面談日
5		5/9(金)健康診断 5/18(日)面談日
6	6/12(木)・13(金)春季旅行(松浦鉄道)	6/15(日)面談日
7	7/20(日)夏祭り(保護者招待イベント)	7/20(日)夏祭り・面談日
8		
9	9/17(水)放生会	9/12(金)火災避難訓練 9/21(日)面談日
10	10/31(金)ハロウィンパーティー	10/19(日)面談日 10/23(木)健康診断
11		11/16(日)面談日
12	12/15(月)忘年会(ブルシエール) 12/25(木)クリスマス会	12/21(日)餅つき・面談日
1	1/9(金)飯盛神社初詣・新年会	
2	2/3(火)節分会 2/24(火)買物(フォレストシティ春日)	2/15(日)面談日
3	自立訓練 終了式(3/26) 3/19(木)日帰り旅行(グリーンランド)	3/11(水)避難訓練 3/15(日)面談日

※毎月、工賃日(5日)はグループに分かれて外食を実施。

【さわら本舗】

月	行事名	備考
4	食事会(4/6)	
5	食事会(5/3)・バスハイク<油山>(5/4)	

6	歓迎会(6/22)	
7	7/20(日)夏祭り(保護者招待イベント)	
8	納涼食事会(8/11)	
9		9/21(日)避難訓練(さわら本舗)
11	人権フェスタ(11/30)	
12	忘年会(12/27)	
1	初日の出・初詣(1/1)	
3		3/15(日)火災避難・防災訓練

令和7年度 四箇厚生園 事業報告書（案）

1. 基本方針

令和7年度は、利用者様一人ひとりの思いや個性を大切にしながら、「安心して暮らせる施設づくり」と「地域に開かれた施設運営」を基本方針として事業を実施いたしました。

日々の生活支援においては、利用者様が穏やかに安心して生活を送ることができるよう、個々の障害特性や身体状況に応じた支援を行い、食事・入浴・排泄等の日常生活支援の充実に努めました。また、利用者様の高齢化に伴う身体能力の変化にも配慮し、日々の健康観察や医療機関との連携を通じて、健康維持と安全確保に取り組みました。

日中活動では、利用者様が楽しみや達成感を感じることができるよう、創作活動や運動活動、軽作業、グループ活動等を実施いたしました。年度内には「ともてらす早良」多目的ホールにてグループ活動発表会を開催し、各グループが一年間の活動成果を披露いたしました。利用者様は練習の成果を十分に発揮され大きな達成感や喜びにつながる行事となりました。当日は多くの保護者の皆様にもご参加いただき、利用者様の活動する姿をみていただく貴重な機会となりました。

健康管理・感染症対策につきましては、手洗い・消毒・換気等の基本的な感染対策を継続し、感染予防に努めました。冬季にはインフルエンザ罹患者が確認されましたが、早期対策と職員間での情報共有を徹底したことで、大きな感染拡大を防ぐことができました。

また、地域とのつながりを大切にし、地域交流や社会参加にも積極的に取り組みました。施設に隣接する畑では大根・人参・小松菜等の季節野菜を栽培し、地域の皆様へ「新鮮で安心して食べられる野菜」としてご好評をいただき、利用者様のやりがいや地域との交流につながる活動となりました。

保護者の皆様との連携にも積極的に努め、毎月第3日曜日の面談日並びに毎月施設の状況報告の文章や行事案内等を通じて情報共有を行いました。保護者会より温かいご寄付いただき、利用者様50名へ運動靴を一人2足ずつ購入させていただきました。新しい運動靴はウォーキングや日中活動に活用しており、大変喜ばれております。

新任職員に対しましては、障害福祉サービスの基本理解や支援技術、感染症対策等について研修を実施し、安心して業務に取り組めるように支援いたしました。また、虐待防止や身体拘束の適正化、権利擁護等に関する研修も実施し、職員の

資質向上と支援の質の向上に努めました。事故防止・防災対策では、ヒヤリハットの共有や再発防止策の検討を行うとともに、避難訓練を定期的の実施し、防災意識の向上にも努めました。

今後も利用様一人ひとりを大切にしながら、安心して暮らし続けることのできる施設づくりと、地域に信頼される施設運営に努めてまいります。

以下、重点目標についての報告をします。

(1) 地域交流

- ・四箇田小学校特別支援学級の生徒さんと芋植え・収穫の交流会。
- ・四箇田校区交通安全の取り組み
始業式と春夏の交通安全指導の参加。
- ・室見川清掃活動参加。
- ・四箇田公民館にて文化祭、しかたシニアフェスティバル 2025、
カフェしかたへの出店、参加。
- ・四箇田校区夏祭り、事前準備及び出店販売。
- ・ともてらす早良にて毎月 1 回悲田院の農産物を出店販売。
- ・しかたクルーネット定期開催参加。

(2) 職員の人材確保・育成

- ・人事管理会議が中心となりマイナビの利用や、就職フェア、学校廻り
(説明会)に参加しました。その結果、四箇厚生園につきましては正
規職員 1 名の雇用に繋がりました。
- ・育成については、新人職員に対する丁寧な園内研修に努めブラ
ザーシスター制度にて夜勤・早出・遅出など業務内容をしっかり
把握する事が出来ました。

(3) 委員会活動

- ・定期的に委員会を開催し、職員間の情報の共有、課題解決に努
めました。

(4) 社会貢献活動・地域貢献活動

- ・ふくおかライフレスキューの早良区連絡会に参加。
- ・四箇厚生園周辺のごみ拾いを定期的に行う。
- ・年に 1 回、献血の参加。

2. 重点目標

(1) 支援目標

【生活介護事業】(定員：58名　現在員：58名)

園内で発生した感染症(インフルエンザ)等の影響で制限ある活動範囲や内容でありながらも各グループが工夫し、利用者さまに意欲的に取り組み、魅力ある活動になるよう努めて参りました。

また、今年度より強化している地域へ出掛ける機会を設け、上手く地域資源を活用(利用)する事に繋げる事が出来た様に思います。

各グループの活動においては、以下の報告の様の通りです。

また、年度末に実施した「グループ発表会」では、初めて保護者をお呼びして日頃の成果を披露していただきました。大変好評で保護者との絆を深められた事は勿論の事ですが、職員に対する信頼関係を築く上でも是非来年度も継続して取り組みたいと思います。

①やったーグループ

→1ヶ月毎に取り組んだ「お疲れ様会」ですが、利用者さまにとって1ヶ月間活動に参加し頑張った称賛として実施しました。この会を催すことでモチベーション向上に役立っている様に感じており、活動参加にも意欲的に行えています。

②たいようグループ

→社会資源を活用した活動内容を実施したり、地域の清掃等も積極的に取り入れました。

また、年に数回利用者さま主体の「グループ会議」を実施し、利用者さまが取り組みたい活動内容等を把握し、利用者さまが意欲的に参加出来る活動内容を提供して参りました。

③カラフルグループ

→活動内容を工夫した事で、グループメンバー全員が運動する機会が増やすことが出来た。また、月に一度のペースで「簡単な調理」などを取り入れたことで楽しんで参加出来る活動も企画しました。

今後も、意欲的に参加出来る内容を提供したいと思います。

その他　しか5 ガーデン

→今年度は自分たちで育てた一部の野菜を「無人販売」をすることが出来ました。その販売での地域の方との交流も増え、地域の方とお話をする機会が増えました。

この様な関りを増やし、四箇厚生園を知ってもらい、障がい福祉への理解度が上がればと思います。

【入所支援事業】（定員：50名　現在員：50名）

今年度は地域移行に対する支援を展開する準備としてルーム担当の編成を行ったり、ルーム活動の取り組む内容を検討したりしながら、地域資源の活用機会を増やして参りました。

また、「つばめ」「かわせみ」「ひばり」の生活エリア毎の支援内容等を検討、実行を図る予定でしたが利用者さまの運動量(機会)の維持・向上を目指し、全体で運動する機会を以前よりも多く設けたり、運動機器の追加準備等を優先して取り組みました。

この取り組みの結果、運動量も増え本来の活気も戻って来たように感じています。また、昼食後の時間や休日等を利用し運動に取り組む利用者さまも増え、余暇時間の充実にも繋がっていると思っております。

【居宅支援事業】

空床利用型短期入所及び日中一時事業について

今年度は、各サービスの在籍している利用者さまの移動等により、施設側としては新規受け入れ準備(見極め)や新規の利用者さまにとっては利用の見極めや徐々に慣れていただく役割として「日中一時支援」のご利用を勧め運営して参りました。

【特定相談支援事業】

早良厚生園と相互に相談支援事業を行っており、今後も、日頃からの良好な連携を維持して参ります。

また、相談員は利用者さまのリアルニーズを把握出来る力を自己研鑽しつつ安心安全な生活を支え、生活の質の向上を図って参ります。

(2) 医務業務重点目標結果報告

- 1, 今年度の健康診断は、5月1日と10月7日に実施しました。利用者様の健康診断の結果については嘱託医に確認して頂き、協力医療機関とも連携し再検査を実施しました。その結果、今年度は治療が必要な利用者様はいらっしゃいませんでした。要観察の利用者様については、生活習慣病の予防に努めるよう、職員および保護者様と情報共有を行い、食事摂取量や間食内容の見直し、運動の促しを実施しています。
- 2, 利用者様が転倒される事案が増えてきたため、職員と情報共有を行い、活動では筋力維持のため、ウォーキングなど体を動かす運動を増やしました。また、利用者様自身が、活動以外の時間に廊下を何往復も歩かれたり、職員が利用者様へ積極的に声かけを行いフィットネスバイクや縄跳びをして貰うように努めました。しかし一方で、夜間の居室での転倒で、頭部を裂傷されたり、足を骨折し手術を行い入院する事案がありました。防ぐことが難しい転倒もありますが、これからも筋力維持に努めると同時に、転倒につながる可能性のある薬の見直しや環境調整、転倒時に適切な対応を行うことができるように、職員と情報共有を行いながら努めていきたいと思えます。
- 3, 誤嚥・窒息予防については、食事中の姿勢について職員が意識して利用者様に声かけを行ったり、足置き台を使うように促しています。また、歯の治療による口腔内変化がきっかけで食事形態を下げていた利用者様については、職員と情報共有を行い、現在の嚥下状態を確認し、食事形態を荒刻みから一口大へ上げる見直しを行いました。
- 4, インフルエンザの予防接種を11月5日に嘱託医に実施して頂きましたが、今年度はインフルエンザA型が施設内で流行しました。1月19日に利用者様3名が発症し、27日までの9日間に利用者様が計16名（12名が抗原検査で陽性、4名が陰性だが症状あり）、職員が計10名罹患しました。対応としては、利用者様は陽性者のみ居室隔離、男女共にユニット内のみで行動、全体の活動は中止し、食事はデイスポ対応としました。利用者様の隔離期間は、当初5日間にしていましたが、感染力が強いこと、5日を過ぎても咳症状があるがマスク着用が難しい方もいらっしゃることから、1月26日から隔離期間を7日間に変更しました。1月27日に1名が発症して以降は罹患者はおらず、2月4日に解除となりました。幸いにも重症化した方はいらっしゃいませんでした。

- 5, 標準予防策や感染時の個人防護具の使用の徹底については、かなり浸透してきました。しかし慣れからくるうっかりミスもあり、改めて標準予防策と個人防護具の使い方についての研修を行いました。

(3) 給食業務重点目標結果報告

1, 栄養ケアマネジメントの実施

サポート会議に支援課長、サービス管理責任者、看護師、管理栄養士が参加し、多職種で体重・BMI 推移、身体状況、食事摂取状況の確認や検討を行いました。年2回の健康診断の結果を確認し、食事量や間食量の検討を行いました。また、主食量や食事形態の検討を行ない、安全で健康的な生活が送れるよう利用者様一人ひとりに適したサービスの提供を行いました。さらに会議の内容を用いて栄養ケア計画書を作成し、リスクに応じて適宜モニタリングを行いました。

2, 給食会議

委託業者、事務長、サービス管理責任者、管理栄養士が参加し、検食簿や栄養摂取状況を確認し、食事内容や行事食等について検討を行いました。また、利用者会議で出た意見を元にメニューの提案や提供方法について検討を行いました。

3, 給食の実施

主食量や食事形態の検討を行ない、利用者様一人ひとりに適した食事を提供しました。食育の日として毎月19日に旬の食材を使用した献立で季節感を楽しんで頂きながら、より充実した食事を提供するよう努めました。園内で感染症が流行した際は、委託業者と連携し適宜変更を行いながら美味しい食事の提供を行いました。

週間献立表、2週間献立表はイメージしやすいよう写真やイラストを用いて掲示しました。郷土料理・世界の料理・選択メニュー・リクエストメニュー・食育の日はポスター形式で写真やイラストと共に説明などを交えて分かりやすく掲示し、食への関心を持っていただけるよう心掛けました。

4, 食育の実施

毎月19日には旬の食材を使用した食事の提供を行いました。活動時には畑に出て野菜の管理や収穫をし、食の大切さ、感謝の気持ちを持つことの大切さをお伝えしました。また、小学校交流会では収穫した野菜を使用し野菜スタンプで作品を作成しました。1年を通してさつまいもを育て、食物の成り立ちや育てることの難しさ、収穫をする喜びを学んでいただきました。

5, 衛生管理面

食堂の清掃は毎日、厨房内の害虫駆除を月に 1 度、9 月と 3 月にグリストラップ清掃を行いました。また、厨房内は殺菌消毒、換気を行い、清潔を心掛けました。

調理従事者は年 1 度の健康診断及び月 1 度の腸内細菌検査を行い、健康管理に留意しました。

厨房内に汚染を持ち込まないよう、履物の交換や下処理、検品を確実に行之、施設職員は必要以外に厨房内に立ち入らないようにしました。

6, 設備面

厨房設備は、定期点検に伴い部品交換を行いました。

◆リクエストメニューとして以下の食事を提供しました。(毎月実施)

4月：かしわご飯／マカロニグラタン

8月：生姜焼き／ちゃんぽん

11月：ロコモコ丼／プリン／エビフライ など

◆選択メニューとして以下の食事を提供しました。(6月,12月未実施)

8月：ハンバーグカレー／オムライス

1月：鮭とほうれん草のパスタ／ナポリタン

2月：スタミナ井／親子井 など

◆行事食として以下の食事を提供しました。(6月・9月・11月未実施)

7月：七夕(ちらし寿司, 照りマヨチキン, そうめんのすまし汁)

8月：夏祭り(唐揚げ、皮付きポテト、焼きそば、チョコバナナ)

2月：節分(恵方巻, 天ぷら, 五目大豆煮, 玉ねぎの味噌汁) など

◆おかわりのメニューとして以下の食事を提供しました。(毎月実施)

7月：かぼちゃサラダ

10月：青りんごゼリー

1月：フルーチェ など

◆郷土料理や世界の料理として以下の食事を提供しました。(毎月実施)

11月：柿の白和え／ヤンニョムチキン

2月：高菜ご飯／クラムチャウダー

3月：チキン南蛮／ガパオライス など

◆食育の日として以下の食事を提供しました。(毎月実施)

4月：筍ごはん

8月：コーンごはん

12月：おはぎ

1. 令和7年度 職員異動状況

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

	期首	採用・異動	退職・異動	期末
施設長	1	0	0	1
事務長	1	0	0	1
支援課長	1	0	0	1
事務員	2	0	0	2
管理栄養士	1.5	0	0	1.5
看護師	1	0	0	1
サービス管理責任者	1.5	0	0	1.5
支援員	34	6	5	35
計	43	6	5	44

育 休 中	支援員	正職	高 空 妃沙	令和 7年 4月 23日付けより復帰 上記管理表に
	管理栄養士	正職	親 川 玲奈	令和 7年 12月 1日付けより復帰 上記管理表に

採 用	支援員	正職	川 子 知華	令和 7年 4月 1日付け(採用)
	支援員	契約	平 井 一彦	令和 7年 10月 1日付け(採用)
異 動	支援員	正職	益 田 海祐	令和 7年 4月 1日付け(早良厚生園より)
	支援員	正職	前 田 司	令和 7年 4月 1日付け(白糸農園より)

退 職	事務長	正職	鬼 倉 ひとみ	令和 8年 3月 31日付(退職)
	支援員	契約	下 川 薫	令和 7年 9月 30日付(退職)
	支援員	契約	後 藤 亜由美	令和 7年 7月 31日付(退職)
異 動	支援員	正職	渡 邊 心平	令和 7年 4月 1日付け(早良厚生園へ)
	支援員	正職	古 賀 琢也	令和 7年 4月 1日付け(早良厚生園へ)

2. 利用者年齢状況

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

入 所	18歳～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
男 性	0	5	5	8	7	4	29
女 性	0	0	2	5	9	5	21

通 所	18歳～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
男 性	0	0	1	4	0	1	6
女 性	1	0	0	1	0	0	2

3. 施設利用期間

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

入 所	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5年以上			合計
男 性	0	3	1	25			29
女 性	1	1	1	18			21
合 計	1	4	2	43	0	0	50

通 所	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5年以上			合計
男 性	0	1	1	4			6
女 性	1	0	0	1			2
合 計	1	1	1	5	0	0	8

4. 障がい支援区分

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

入 所	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男 性	0	0	0	6	14	9	29
女 性	0	0	0	8	6	7	21
合 計	0	0	0	14	20	16	50

通 所	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男 性	0	0	1	0	0	5	6
女 性	0	0	0	0	0	2	2
合 計	0	0	1	0	0	7	8

平均支援区分	入所	通所	合計
男 性	5.10	5.5	5.17
女 性	4.95	6.00	50.4
平 均	5.04	5.63	5.12

5. 施設入所支援利用者異動状況

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

入 所	期首	新規入所	退所	期末
男 性	28	1	0	29
女 性	21	0	0	21
合 計	49	1	0	50

定員:50名

6. 生活介護利用者異動状況

令和 8年 3月 31日現在 (単位:名)

	期首	新規利用開始	利用終了	期末
男 性	34	1	0	35
女 性	24	0	1	23
合 計	58	1	1	58

定員:58名

2025年度 研修関係実績表

園内

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.1

日付	参加職員	研修名	内容
4/1～	川子知華	法人新人職員研修	座学
	前田 司	〃	〃
4/11	川子知華	法人新人職員研修の一環として「障がい者の虐待防止について(身体拘束防止 含)」	座学
	前田 司	〃	〃
5/12	川子知華	法人新人職員研修(2ヶ月目)	座学 SunSunにて
	前田 司	〃	〃
5/18	全職員	食中毒に関する研修(1回目)	高橋主任より 座学
	全職員	感染症対応・対策訓練(1回目)	結城係長・酒井看護師より 嘔吐処理
6/5	全職員	避難訓練	火災 夜間想定
6月R活動にて	全職員	災害BCP訓練(1回目)	災害食体験
6/30	川子知華	法人新人職員研修(3ヶ月目)	座学 四箇厚生園にて
	前田 司	〃	研修後に西九州大学へ
7/2	全職員	虐待防止及び身体拘束防止研修	樺島係長より 座学
7/29	川子知華	法人新人職員研修(4ヶ月目)	座学 早良厚生園にて
	前田 司	〃	〃
8/28	川子知華	法人新人職員研修(5ヶ月目)	座学 四箇厚生園にて
	前田 司	〃	〃
9/3	全職員	ハラスメント研修	座学 外部講師により
9/9	全職員	災害BCP研修(1回目)	青木より 震災想定 訓練に向けたGW
9/21	全職員	感染症BCP研修(1回目)	鬼倉事務長より 座学
9/26	川子知華	法人新人職員研修(半年)	座学 白糸農園にて 登山あり
	前田 司	〃	〃
10/10	佐藤星奈	法人2年目職員研修	座学 四箇厚生園にて 地域散策あり
	谷村千春	〃	〃
	谷川智哉	〃	〃
10/28	全職員	感染症対応・対策研修(1回目)	結城係長より オンライン研修受講
10月日中活動にて	全職員	火災以外の避難訓練	各グループにて 洪水・浸水想定
11/6	田中孝親	法人3.4年目中途採用職員研修	座学 サラビア会議室 研修後懇親会
11/7	川島瑞穂	法人3年目職員研修	座学 早良厚生園にて
	小林美雛	〃	〃
	小嶋慎太郎	〃	〃
11/12	全職員	ハラスメント研修	座学 外部講師により(9/3不参加者)
	全職員	避難訓練	火災 総合訓練(消火・通報など)
11/16	全職員	感染症BCP訓練(1回目)	鬼倉事務長より 机上訓練 ソーニング
12/8	全職員	災害BCP訓練(2回目)	青木より 震災想定 避難に向けた準備
1/14	全職員	法人 安全運転講習	全職員対象 座学
	全職員	感染症BCP研修(2回目)	鬼倉事務長より アンケート GW
2/27	全職員	感染症BCP訓練(2回目)	鬼倉事務長より ノロウイルス想定
	全職員	災害BCP研修(2回目)	青木より サボカレ視聴
3/10	全職員	感染症対応・対策研修(2回目)	結城係長より サボカレ視聴
3/11	全職員	食中毒に関する研修(2回目)	高橋主任より サボカレ視聴
3/15	全職員	感染症対応・対策訓練(2回目)	結城係長・酒井看護師より 嘔吐処理・防護服等の着脱
	上記以外に、全体会議内やユニット会議等で利用者さまについての「個別支援(ケース)会議」を実施する。		

2025年度 研修関係実績表

園外

社会福祉法人悲田院 四箇厚生園

No.1

日付	参加職員	研修名	内容
5/21.22	川子・前田	社会福祉役職研修 新任職員研修	座学
5/30～数回	川島・小嶋	人材育成研修 応用行動分析学(ABA)を学ぶ研修	座学
6/10～数回	生野佑弥	福岡県相談支援従事者初任者研修	座学
6/17～	酒井看護師	感染症予防研修(前期)	動画視聴
6/18	福井・鬼倉	第1回 総会及び施設長研修会	座学
6/27	高橋幸恵	社会保険制度説明	座学
7/17.18	渡邊・島谷	第56回 九州地区知的障がい関係施設職員研修大会	座学 分科会
7/23	酒井・木村・川島・谷村	民間協 職員研修	座学
	池田さくら	福岡県栄養士会研修会	オンライン研修
8/1～	池田さくら	特定給食施設従事者研修会	動画視聴
8/7	青木徹	民間協 組織マネジメント研修VOL3	座学
8/31	谷川・川子・小林	障がい者行動支援研修	講義のみ参加 座学
8/29	福井施設長	福岡地区施設長会及び部会委員会	座学 情報交換会
9/2	高橋幸恵	育児休業に関する事務講習会	座学
10/17	青木徹	障がい福祉現場の人材・確保・定着に向けたシリーズVOL1	座学
10/20	結城・杉田・酒井・池田・木村	障がい者支援施設部会研修会	座学 グループワーク
	希望者	//	オンデマンド配信
10/27	青木徹	障がい福祉現場の人材・確保・定着に向けたシリーズVOL2	座学
10/29	青木徹	社会福祉法人トップセミナー	座学
11/1	池田さくら	福岡県栄養士会実務研修会	座学
11/4～	池田さくら	給食施設従事者研修会	動画視聴
11/6.7	福井・鬼倉・樺島	施設間交流会研修会	座学 懇親会
11/7	福井施設長	企業向けオンライン人権啓発研修会	オンライン研修
	生野・前田	第1回 福岡地区職員研修会	座学 懇親会
11/26	佐藤・川子	アンガーマネジメント研修	座学
11/28～	酒井看護師	感染症予防研修(後期)	動画視聴
12/9	福井施設長	部会・委員会・全大会	会議 情報交換会
12/12	福井施設長	公正採用選考人権啓発推進員研修	ビデオ視聴 座学
12/17.18	福井・酒井・生野・池田	第13回 障がい者支援施設部会 全国大会 東海地区愛知大会	座学 分科会
12/17	青木徹	第3回 社会福祉法人経営者セミナー	座学
1/23	青木徹	「生成AI」業務効率化セミナー	座学
2/2～16	親川・池田	給食施設従事者研修会	動画視聴
2/17.18	長岡・益田	九州地区知的障がい者福祉協会 種別部会・合同研修会	座学 分科会 情報交換会
2/19.26	益田海祐	社会福祉士 実習指導者講習会	オンライン研修
2/19	吉丸・池田・渡邊	さわら障がい福祉ネット 防災研修	座学 防災委員会
2/24	結城・田中・川島	福岡市民間障がい施設協議会 研修	座学
2/27	渡邊彩加	早良区部会	情報共有 情報交換会 懇親会
3/6	親川玲奈	給食施設従事者研修会	座学
3/11	青木・杉田・渡邊	福岡市手をつなぐ育成会 法人内研修「薬物療法研修」	座学
3/17～19	田中孝親	強度行動障がい支援者養成研修	オンライン研修
3/16	青木・結城	AIを活用して人生100年時代の社会課題を解決する仲間を探そう!!	座学 情報交換会
3/24	福井・青木	第2回 施設長研修会	会議 座学

令和7年度 年間主要行事等 実績表

月	行 事 名	実施日	備 考	そ の 他
4月	新人歓迎遠足(スケッチ)	4月25日	四箇中央公園にて予定通り実施	
5月	漢祭り	5月13日	予定通り実施	5/1 健康診断(職員メイン)
				5/23 芋の苗植え(四箇田小との交流会)
6月	大運動会	6月26日	早良体育館にて予定通り実施	6/16 T2様 ミニライブ
8月	夏祭り+BBQ(露店として)	8月5日	予定通り実施	
9月	シニアフェスタ	9月25日	一部の利用者さま・職員参加	9/19 利用者旅行(福岡コース)
	ピザパーティー	9月30日	園内ピザ窯調理	
10月	ハロウィンパーティー	10月31日	予定通り実施 3施設交流を兼ねる	10/7 健康診断(利用者さまメイン)
12月	クリスマス会	12月25日	予定通り実施	10/17 利用者旅行(大分コース)
1月	新年会	1月9日	予定通り実施	10/18 四箇田秋祭り(地域交流)
2月	節分	2月3日	予定通り実施	11/10 芋掘り・焼き芋(四箇田小との交流会)
3月	雛祭り	3月3日	予定通り実施	11/14 利用者旅行(佐賀コース)
	グループ発表会リハーサル	3月10日	ともてらす早良にて予定通り実施	
	グループ発表会・打ち上げ	3月12日	ともてらす早良にて予定通り実施	
			保護者多数観覧	

～各グループでの取り組み～

【カラフル】

5月23日 芋の苗植え
 7月7日 セタ
 7月11日 スイカ割り
 11月10日 芋ほり・焼き芋
 2月13日 バレンタイン
 3月12日 ホワイトデー

【やったー】

5月23日 芋の苗植え
 7月7日 セタ
 7月14日 スイカ割り
 11月10日 芋ほり・焼き芋
 2月13日 バレンタイン
 3月17日 ホワイトデー

【たいよう】

5月23日 芋の苗植え
 7月7日 セタ
 7月18日 スイカ割り
 11月10日 芋ほり・焼き芋
 2月12日 バレンタイン
 3月17日 ホワイトデー

お月見／イルミネーションは活動で実施する。

お月見 カラフル：10/3
 たいよう：10/14
 やったー：10/30
 イルミネーション カラフル：11/7
 たいよう：11/6
 やったー：11/11

令和7年度 白糸農園事業報告（案）

社会福祉法人 悲田院
障がい者支援施設 白糸農園

1. 基本方針

令和7年度に義務化された「地域連携推進会議」に対しては、施設入所支援、共同生活援助ともに実施しました。地域の方に参加してもらう事で白糸農園が運営する共同生活援助が自治会や町内会に参加していないという実態が浮かび上がり、今後は自治会や町内会に会費を払って参加するようにしています。

「就労選択支援」については糸島市において本格的に始まっていませんが、研修等に参加し制度について理解する努力をしました。

ご利用者への支援について

- ・ご利用者に対し礼節のある接し方を行い、ご利用者の尊厳を守るために支援室内に「利用者の方への接し方」というファイルを置き、年度会議や職員会議、支援会議で支援方針を職員に伝えました
- ・ご利用者の住環境においては週に1回、ご利用者と一緒に居室などの掃除や整理をする時間を設けています。また、結露にてカビが発生していた男性棟ユニット天井は対策として換気扇を8カ所、排気口4カ所を設置し、カビが発生していた場所は清掃、塗装を行いました。
ドレンホース詰まりから度々水漏れを起こしていた各居室のエアコンは全居室の入れ替え工事が終わりました。ドレンホース詰まりを起こした場合の対策工事も併せて行っています。
- ・健康管理については「医療法人 桜野診療所さくらのクリニック」と嘱託医契約を結び、ご利用者が体調を崩された場合は同法人が運営する「みんなのクリニック」へ通院を行なっています。その他、歯科の訪問診察や病状に合わせた通院も実施しています。夜間においてはオンコール代行業者「ドクターメイト」を活用し、ご利用者の些細な体調変化についても相談できる体制を整え、ご利用者ご家族の安心はもちろんの事、職員も夜勤業務に安心して従事できています。
- ・食事については利用者の方の大きな楽しみの一つである事から、日清医療食品株式会社協力のもと、行事食や季節食の提供ができています。
- ・生活介護においては新たな行事も行い、月に一回は行事を行う事で活動において

も季節感を感じる事ができるように努めました。

職員の資質向上

令和5年度に施設内で虐待が起こった事を鑑み、施設内研修、業務振り返りチェックリスト、虐待防止チェックリストを継続して行いました。また、施設外での研修、他法人との交流会にも積極的に参加してもらい、自らを俯瞰的に見る事ができる機会を設けました。

施設経営

生活介護、施設入所支援については安定した経営ができているものの、特に女性利用者については待機者が殆どいないため、支援課長・支援係長が特別支援学校へ挨拶回りを行いました。その後は特別支援学校在校生、保護者の見学が増えました。グループホームについては4名定員割れの状態です。

2. 重点目標報告

(1) 事業報告

障害者総合支援法に則り、利用者のニーズを把握しながら個別支援計画に基づき支援を行いました。

【生活介護事業】

利用者様ひとりひとりのニーズや要望を把握しながらサービス提供を実施しました。また、作業参加が難しい方は「個別活動班」にて支援を実施しながら軽作業などの提供に努めました。

今年度も利用者様の楽しめる行事を増やして行ける様に取り組み、行事を増やす事が出来ました。

《生活介護班》

多くの利用者が関われる葱作業を継続的に提供しました。また、レクリエーション（余暇活動）をバランスよく提供しました。

《個別活動班》

障がい特性上、個別での対応が望ましい方や高齢の方を中心に個別課題や体力維持の為の活動を提供しています。また、全体での活動にも参加をして頂ける様に努めました。

【施設入所支援】

夜間は夜勤者3名体制を継続して行っています。入所利用者の重度高齢化に

伴い、安全面においては体調や精神面の変化等の早期発見、早期対応が出来るように男女職員の協力の下、巡回を細目に実施しました。また、オンコールサービスの導入を実施し、職員が安心して勤務出来る体制を整えています。

休日の日中に関しては男女4名体制で支援を行いました。

空床利用型短期入所につきましては、空いた居室を利用し入所を見越しての利用に繋げております。

(1) 利用者、保護者との連携

月1回の面談日による面談を実施しております。面談及び電話や書面にて保護者と連絡を取り合い情報の共有、保護者の意向の聞き取り等を実施し連携を深めました。

また、個別支援計画の説明と同意を該当月に実施しております。

(2) 地域との連携

稲原地区の常会に参加し、行事や清掃活動の予定を直接聞き、地域活動に参加させて頂きました。

(3) 職員の資質向上

対面での研修等には、その時の感染症の状況を確認しながら参加をしております。また、オンラインでの研修には積極的に参加し自己啓発、自己研鑽に努めました。権利擁護や虐待防止の研修についても再発防止に向け、定期的に虐待防止チェックリストの提出及び施設内虐待防止研修を実施し、職員の資質向上に努めております。

3. 支援基本目標

①相談、苦情解決

利用者の苦情、相談については相談箱を設け、職員への相談しやすい姿勢に努め、相談支援体制の充実を図りました。相談を受けた際には速やかに情報を職員間で共有し、問題点についての改善に努めています。

②事故防止

日頃よりヒヤリハットを意識し、職員会議で報告・共有を行うことにより事故を未然に防ぐ努力を行っております。ヒヤリハット報告書、事故報告書についてはファイルし、職員全員で再発防止のための共通認識を深めるよう努めました。

③個別支援計画

生活介護事業においては、6ヶ月毎に個別支援計画のモニタリングを実施し、個別支援計画の作成については保護者への説明、同意を得ることが出来ていますが、保護者への連絡がつかないなど各家庭の諸事情により、本人同意のみの方も数名おられます。

4. 生活介護作業計画報告

①葱作業

管理作業をしっかりと行う事で、年間を通して安定的に出荷を行い、収益を上げる事が出来ました。今年度は年度末賞与として2,000円支給をしております。

②加工品作業

安定的に生産を行う事により、収益を上げる事が出来ました。販路に関しては、伊都菜彩、福ふくの里、やますえへの納品、販売を行う事で売り上げを伸ばす事が出来ております。また、加工場の環境整備、衛生管理に努めました。

③園内消毒・清掃

新型コロナウイルス感染症等の感染予防の為、毎日、園内消毒を噴霧器にて実施しました。園内清掃では、定期的に園舎内外の清掃を行いました。清掃を提供していくことで利用者の生活の質の向上にもつながっています。

④花植え活動

園入口の石碑の横に花壇を設置し、季節毎の花植えを実施しております。

5. 就労支援事業の評価と記録報告

工賃については悲田院工賃規程、白糸農園工賃支給要領に基づき、毎月の作業参加状況に基づき支給を行っております。

6. 居宅支援事業報告

地域連携推進会議等を実施し地域の方々と交流を深め、地域の一員として生活を出来る様に支援をおこないました。世話人や支援員が幅広く勤務出来るような体制作りを行う事で安定的に対応出来る様になっております。

7. 保健衛生支援計画報告

コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策として、食事の際の席にパーティションを設置し、全員が同じ方向を向き食べる様にしております。また、利用者と職員が一緒に食事をしない様に職員は別室で食事を摂っております。

施設内全体を消毒する機械を使用し毎日、消毒を行い、外出時には職員・利用者全員にマスクの着用を実施しております。

(1) 健康診断

定期健康診断を年2回実施しております。

(2) 歯科検診

歯科検診を実施し虫歯予防の為、歯磨き介助、見守り、声掛けを行いました。
また、引き続き訪問歯科による治療を継続し、通院が難しかった重度の方数名も施設内で実施出来ております。

(3) 嘱託医の訪問診察を毎月実施し、利用者の状況、状態把握、早期発見に努め、健康管理（手洗い、うがい、手の消毒）を行っております。今年度より嘱託医を医療法人桜野診療所様に引き受けて頂いた事で、日頃の通院と組み合わせ利用者様の健康管理をこれまで以上に細目に実施する事が出来ております。

(4) 疾病別また、肥満対象者へ特別食を提供しております。

(5) 毎月の体重、血圧測定を実施し健康面の把握を行いました。

(6) 毎日の検温（1日2回、冬場は1日3回）視診にて、その日の体調等を把握し、コロナウイルス、インフルエンザ等の早期発見に努めました。

(7) 今年度も感染症予防の為、1年間を通して職員のマスクの着用、手洗い、うがい、消毒を実施しました。

8. 給食業務重点目標報告

(1) 給食会議

月1回実施し委託業者、利用者、職員で意見等を出し合い、より良い食事の提供が出来る様にメニューの充実を図りました。

(2) 楽しい食事

明るく和む様な雰囲気作りに努めました。行事食や選択メニューを実施し、献立表も写真付きにし、利用者の方がイメージをし易い様にしております。外食を絡めた外出の機会は感染症の流行を確認しながら、楽しみの機会を増やしております。

(3) 衛生管理

委託業者と協議を行いながら、害虫等の駆除や清潔を保ち、外部からの感染を予防しました。

(4) 食堂及び厨房設備の充実

オール電化となっており、必要に応じて食堂内の装飾や備品・厨房器具も協議して改善しました。

令和7年度 大地の恵み事業報告（案）

1. 基本方針

白糸農園事業報告（案）に準ずる。

2. 事業目標報告

- （1）今年度は定員20名に対し22名の登録で事業を運営出来ています。
3月末に高齢により働く事が難しくなられた利用者様が、サービス移行をされています。今後も利用者様の出勤し易い環境作りに努め定員を満たした状態で運営出来る様に努めて参ります。
- （2）生産活動（水稻、玉葱、野菜、玉葱加工）と施設外支援を中心に障がいのある方の働く場としてサービスの提供を行いました。令和7年度は、平均工賃40,980円の支払いを行いました。

3. 支援基本目標報告

- （1）個別支援計画
定期的にモニタリングの実施を行い、利用者一人一人に合った支援方法を検討し、個別支援計画の作成を実施しています。
- （2）相談、苦情解決
相談箱の設置及び職員への相談しやすい環境作りに努め、相談体制の充実を図りました。また、保護者と密な連絡を行う事により苦情は挙がっておりません。
- （3）事故防止
安全対策の強化を行うことにより、利用者様に関する事故の発生はありませんでした。今後も引き続き事故がない様に安全対策に努めて参ります。

4. 就労事業活動計画報告

- （1）水稻事業
生産に関しては、減農薬栽培に努め良質米の生産が行えています。販売に関しては、単価の引き上げを行う事でより多くの収益を上げる事が出来ました。

(2) 玉葱作業

株式会社福岡フードサプライ様と安定的に取引を行っております。また、フードサプライ様に出荷が出来なかった規格の玉葱に関しても、Sunショップや糸島ねぎぼうずにて販売を行い、より多くの収益を上げる事が出来ました。

(3) 野菜作業

今年度は、青空ネット51様と取引を開始しております。また、Sunショップと糸島ねぎぼうずで販売を行って頂く事で、廃棄も少なく販売が出来ております。

(4) 玉葱加工作業

今年度は予定量を納品・出荷を行う事で安定した収益を上げる事が出来ております。

(5) 施設外支援

福岡フードサプライ様に利用者2名をローテーションにて年間180日を上限に施設外支援にて受け入れて頂きました。日に1回事業所を訪問し担当者様と密な連携を図っています。

5. 就労支援事業の評価と記録

工賃については悲田院工賃規程、大地の恵み工賃支給要領に基づき、毎月の作業参加状況及び工賃検討委員会による評価により支給しております。

6. 保健衛生支援計画報告

白糸農園保健衛生支援計画報告に準ずる。

7. 給食業務重点目標報告

白糸農園給食業務重点目標報告に準ずる。

1. 職員異動状況

白糸農園 令和8年3月31日現在 単位:名

職 種	期 首	採 用・異 動	退 職・異 動	期 末
施設長	1	0	0	1
副施設長	0	0	0	0
事務員	3	0	0	3
支援員	29	2	4	27
看護師	1	1	1	1
栄養士	1	0	0	1
世話人	7	4	3	8
計	42	7	8	41

大地の恵み 令和8年3月31日現在 単位:名

職 種	期 首	採 用・異 動	退 職・異 動	期 末
管理者・サビ管	2	0	0	2
目標工賃達成指導員	2	0	1	1
職業指導員	2	0	0	2
生活支援員	2	0	1	1
計	8	0	2	6

【退職及び異動】 白糸農園

支援員 持田 裕香 令和7年7月31日付(退職) 看護師 久保 麻衣 令和7年9月30日付(退職)
支援員 中尾 臣介 令和7年7月31日付(退職) 支援員 北里 麻衣 令和7年8月31日付(退職)
支援員 東條 真生子 令和6年3月31日付(退職)

【採用及び異動】 白糸農園

支援員 江田 拓人 令和7年4月1日付 支援員 板山 藍花 令和7年4月1日付
支援員 平島 妙子 令和7年7月1日付 支援員 浦川 美智代 令和7年9月1日付
支援員 脇山 秀男 令和7年10月1日付

【退職及び異動】 大地の恵み

支援員 松尾 末光 令和8年2月27日付(退職) 支援員 西村 光紀 令和8年3月31日付(退職)

【採用及び異動】 大地の恵み

支援員 吉原亜紀子 令和7年4月1日付

2. 利用者状況

白糸農園 定員:入所50名(男性34名・女性16名)・生活介護46名

日明ホ一ム5名 : 駅南ホ一ム5名 : 老松ホ一ム5名 : さくら5名

利用者異動状況:生活介護

令和8年3月31日現在 単位:名

	期首	入所	退所	期末
男性	32	0	1	31
女性	15	1	1	15
合計	47	1	2	46

利用者異動状況:施設入所支援

令和8年3月31日現在 単位:名

	期首	入所	退所	期末
男性	34	1	1	34
女性	15	2	1	16
合計	49	3	2	50

利用者異動状況:共同生活援助

令和8年3月31日現在 単位:名

	期首	入所	退所	期末
男性	9	0	1	8
女性	9	0	1	8
合計	18	0	0	16

障害程度区分表:生活介護

令和8年3月31日現在 単位:名

	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	12	8	10	31
女性	0	0	0	2	6	5	2	15
合計	0	0	0	3	18	13	12	46

障害程度区分表:施設入所支援

令和8年3月31日現在 単位:名

	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	3	14	9	8	34
女性	0	0	0	2	7	5	2	16
合計	0	0	0	5	21	14	10	50

障害程度区分表:共同生活援助

令和8年3月31日現在 単位:名

	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
男性	4	0	0	2	2	0	0	8
女性	3	0	0	1	3	1	0	8
合計	7	0	0	3	5	1	0	16

年齢別統計表:生活介護

令和8年3月31日現在 単位:歳:名

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～80	合計	最年少年齢	最年長年齢	平均年齢
男性	0	9	4	3	5	5	5	31	24	76	48.38
女性	0	2	2	1	3	5	2	15	25	77	51.69
合計	0	11	6	4	8	10	7	46	24	77	49.46

年齢別統計表:施設入所支援

令和8年3月31日現在 単位:歳:名

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～80	合計	最年少年齢	最年長年齢	平均年齢
男性	0	6	5	4	7	6	6	34	24	77	51.4
女性	0	2	2	1	4	5	2	16	25	77	53.38
合計	0	8	7	5	11	11	8	50	24	77	52.03

年齢別統計表:共同生活援助

令和8年3月31日現在 単位:歳:名

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～80	合計	最年少年齢	最年長年齢	平均年齢
男性	0	0	0	4	2	2	0	8	41	66	47.49
女性	1	0	3	1	2	1	0	8	19	63	43.28
合計	1	0	3	5	4	3	0	16	18	66	45.38

在所期間:生活介護

令和8年3月31日現在 単位:名

	1年未満	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～	合計	平均在所期間
男性	0	4	6	4	2	2	4	9	31	23
女性	1	3	3	3	2	0	1	2	15	15.25
合計	1	7	9	7	4	2	5	11	46	20.47

在所期間:施設入所支援

令和8年3月31日現在 単位:名

	1年未満	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～	合計	平均在所期間
男性	1	2	4	4	3	2	6	12	34	25.16
女性	1	3	3	3	2	0	1	3	16	16.29
合計	2	5	7	7	5	2	7	15	50	22.32

在所期間:共同生活援助

令和8年3月31日現在 単位:名

	1年未満	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～	合計	平均在所期間
男性	0	0	4	0	4	0	0	0	8	15.07
女性	0	1	4	2	1	0	0	0	8	6.77
合計	0	1	8	2	5	0	0	0	16	10.92

大地の恵み 定員:20名

利用者異動状況:就労継続支援B型

令和8年3月31日現在 単位:名

	期首	入所	退所	期末
男性	16	0	1	15
女性	6	1	0	7
合計	22	1	1	22

年齢別統計表:就労継続支援B型

令和8年3月31日現在 単位:歳:名

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～80	合計	最年少年齢	最年長年齢	平均年齢
男性	0	2	1	4	4	3	1	15	20	70	44.48
女性	1	0	2	1	2	1	0	7	19	63	35.7
合計	1	2	3	5	6	4	1	22	20	73	41.7

令和7年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 白糸農園 NO1

月	日	参加職員	研 修 名	研修会場
4月	16日	久保 麻衣	精神科の薬の使い方	日本精神科看護協会
5月	21日 22日	板山 藍花	令和7年度 新任職員研修	クローバープラザ
		江田 拓人	〃	〃
6月	5日	板山 藍花	職員基礎研修	博多バスターミナル 大ホール
		江田 拓人	〃	〃
		川並 勇人	糸島市障がい福祉事業所 交流研修会	糸島市健康福祉センター ふれあい
	12日 19日	田中 寿子	発達障害の理解	オンライン
		北里 麻衣	〃	〃
	17日 18日	川並 勇人	令和7年度 中堅職員研修	クローバープラザ
		田中 寿子	〃	〃
	24日	江田 拓人	2025年度新人職員ライブゼミ	オンライン
	30日	板山 藍花	法人新人職員研修	
		江田 拓人	〃	
7月	11日 12日	川並 勇人	サービス管理責任者基礎研修	博多国際展示場
	11日	井手 大輔	メンタルヘルス研修	オンライン
	15日	大塚 孔美子	中堅職員 接遇研修	〃
		長野 健	サービス管理責任者基礎研修	博多国際展示場
	17日 18日	川並 勇人	九州地区知的障害関係 施設職員研修大会	宮崎観光ホテル
		徳永 瑞希	〃	〃
	17日	宮崎 浩彰	ハラスメント防止講習会	オンライン
	20日	全職員	施設内虐待防止研修	
	29日	板山 藍花	法人新人職員研修	
		江田 拓人	〃	
8月	21日	井手 大輔	メンタルヘルス研修	オンライン
		野中 大輔	ハラスメント防止講習会	〃
	26日	全職員	糸島市スマイルネットワーク虐待防止研修会	〃
	28日	板山 藍花	法人新人職員研修	
		江田 拓人	〃	
9月	22日	〃	2025年度新人職員ライブゼミ	オンライン
	26日	板山 藍花	法人新人職員研修	
		江田 拓人	〃	
10月	2日 3日	北野 孝一	九州地区知的障害関係 施設長研修大会	鹿児島サンロイヤルホテル
		宮崎 浩彰	〃	〃
	10日	渡邊	2年目職員園内研修	
	27日	北野 孝一	障がい福祉事業所 人材確保・育成・定着セミナー	ふくふくプラザ
11月	6日	〃	令和7年度 第1回 施設間交流研修会	社会福祉法人 たちばな会

令和7年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 白糸農園 NO2

[illegible]

令和7年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 大地の恵み

月	日	参加職員	研 修 名	研修会場
5月	28日 29日	吉原 亜紀子	令和7年度 新任職員研修	オンライン
6月	5日	西村 光紀	職員基礎研修	博多バスターミナル 大ホール
		岡 洋且	糸島市障がい福祉事業所 交流研修会	糸島市健康福祉センター ふれあい
	17日 18日	西村 光紀	令和7年度 中堅職員研修	クローバープラザ
7月	24日	藤井 剛	カスタマーハラスメント防止講習会	オンライン
10月	27日	山本 康平	障がい福祉事業所 人材確保・育成・定着セミナー	ふくふくプラザ
11月	6日 7日	〃	令和7年度 第1回 施設間交流研修会	社会福祉法人 たちばな会
		藤井 剛	〃	〃
12月	18日	山本 康平	糸島スマイルネットワーク役職職員研修	二丈苑
		藤井 剛	〃	〃

令和7年度 行事

障がい者支援施設 白糸農園

月	行事【担当】	業務【担当】	園外活動【担当】	備考
4		総合防災訓練【川並・東條・板山】		保護者会総会 健康診断
5	デイキャンプ【野中・田中・池田】		長系校区運動会	GW帰省 理事会
6			長系小花植え活動・小学校交流会 稲原地区清掃活動 ふれあいカーニバル【徳永・渡邊】	嘱託医訪問診察
7	七夕【徳永・相田・渡邊】			
8			稲原地区清掃活動 長系地区慰霊祭 長系夏祭り【地域交流】	夏季帰省
9		夜間避難訓練【川並・板山・平島】	稲原地区清掃活動 野球観戦	嘱託医訪問診察 理事会
10	旅行【相田・池田・江田・大塚】 糸島市民祭り【梅津・川並・板山】 ハロウィン【松雪・徳永・平島】		稲原地区美化運動 長系文化祭【地域交流】	健康診断
11	旅行【相田・池田・江田・大塚】		長系小花植え活動・小学校交流会	理事会 インフルエンザ予防接種
12	クリスマス【梅津・川並・板山・平島・浦川】		人権映画鑑賞	嘱託医訪問診察
1	新年会【田中・野中】			冬季帰省
2	節分【松雪・渡邊・江田】			
3	レクリエーション【梅津・川並・相田】			嘱託医訪問診察 理事会

その他の行事

毎月1回の買い物外出支援(G外出含む)	
毎月第3日曜日に面談日を実施	
※野球観戦に関しては招待の時期により変更になる場合があります。	
その他、招待等があれば参加を検討します。	

令和 7 年度 SunSun 事業報告（案）

1. 基本方針報告

就労継続支援 A 型と B 型のサービスを実施し、それぞれの場所で活動をおこないました。

○糸島市クリーンセンターリサイクルプラザプラザ棟（糸島市指定管理業務）

就労継続支援 A 型の施設外就労の場として、障がいのある方が安心して、静かな環境の中で落ち着いて働く事ができました。家具の再生、解体作業を怪我なく進める事が出来ました。

○むっちゃん万十 前原店

お年寄りや子供たちの憩いの場として親しまれ、万十だけでなく、かき氷やアイスなどサイドメニューも人気を集めています。夕方には学校帰りの学生で店内が賑わい、地域に根ざした交流の場として街づくりにも貢献する事ができました。

○糸島 Sun ショップ

糸島市や糸島市内の企業と生産者、糸島を訪れる方々に貢献する事が出来ました。また、白糸農園のお米も好評をいただき、売上拡大につながりました。

○むっちゃん万十 前原駅販売所

SunSun を利用する障がいのある方たちの賃金と工賃の確保に繋がりました。売り上げは昨年と変わらないくらいでした。

○MH ビル 2F

就労継続支援 B 型の活動の場として活用し、精神障がいや発達障がいのある方が安心して働けるよう、パーテーションの設置による環境調整を行うとともに、不安を感じられる際には丁寧に話を伺い、安心して過ごせるよう支援を行いました。利用時間についてもご本人の状態に合わせて調整し、保護者を含め話し合いを重ねながら、進める事ができました。精神的に体調を崩され休まれる方もいましたが、一人一人にあった作業を提供する事ができました。

○伊都の杜第一公園（糸島市シルバー人材センター委託業務）

就労継続支援 B 型の施設外就労の場として、利用者の方の健康増進、体力維持や気晴らしも兼ねて清掃活動を行う事ができました。

2. 事業目標報告

就労継続支援 A 型では生産活動収支が利用者の支払う賃金の総額を下回ることなく賃金を支払う事が出来ました。就労継続支援 B 型では平均工賃支払いが前年度より多くなりました。

○就労継続支援 A 型

- 1) 2025 年度最低賃金の改定に際しても、福岡県の定める最低賃金以上の支払いと社会保険料の支払いを行うことが出来、障がいのある方の雇用の場を守る事が出来ています。
- 2) 就労継続支援 B 型の利用者でもできるような作業は委託し、連携することが出来ています。

○就労継続支援 B 型

- 1) 令和 7 年度の日々の平均利用者数は 10 名となっています。精神障がいの利用者の方が多く、急に休まれたりと平均利用が安定しない為、引き続き利用者増員を行っていきます。
- 2) 精神障がいや発達障がいの方が安心して通えるように環境設定や話を傾聴するなど、ご本人一人一人にあった支援を提供する事が出来ています。
- 3) 就労継続支援 A 型と連携しながら、安定した工賃支払いを行う事ができました。
- 4) 周辺の社会資源を利用して新しい飲食店に一人で行く訓練を行う事ができました。

3. 支援基本目標

○就労継続支援 A 型

- 1) 障がい特性や個性に合わせた仕事を提供しながら賃金を支払い、安心して働く事ができる環境作りを行いました。
- 2) 精神障がいの方に心の安定にも配慮しながら支援を行い、体調が悪い時には休憩をとるなどご本人のペースに合わせて、利用する事が出来ます。
- 3) 難病の方には本人の体力に合った職場環境に配慮を行い、無理のない作業を提供し体調を確認しながら行う事が出来ています。
- 4) 就労継続支援 A 型は雇用の場である事、利用している方が後に一般就労を目指す可能性もある事から健康管理の重要性、言葉遣いや立ち居振る舞い、身だしなみなど働く上での姿勢について助言や指導を行う事ができました。また、就労希望先への見学に引率を行い、見学日

程の調整を行うことができました。実際に見学を行うことで、ご本人にあった作業内容や働き方について改めて見つめ直す機会となり「見学に行って良かった」と、前向きな感想を聞くことができました。

○就労継続支援 B 型

- 1) 障がい特性や能力に合わせた作業を提供し、楽しく生き生きと活動できる環境作りを行いました。
- 2) 精神障がいのある方の利用が多いことから、相談支援事業所やグループホーム、病院との連携を密に行う事ができました。精神状態が不安定になり他者とのトラブルになり休まれる事もありますが、辞めることなくご本人のペースで利用する事が出来ています。
- 3) 周辺の社会資源を利用して、買い物や外食の体験など、生活の訓練を行いました。
- 4) 生活の訓練やレクリエーションを行う事で、社会参加の場を提供しました。

以上の支援を実施するにあたり、管理者、サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員、賃金向上達成指導員等、それぞれが優れた社会性と専門性を保持しなければならない為、事業所内外での確認、研修参加などを行い自己研鑽に努めました。

4. 評価と記録

障がい特性、個性に合わせた個別支援計画を作成し、モニタリングを行いながら利用者一人一人に合った支援を提供しました。

5. 事故防止

作業工程等においてマニュアルを使用し事故を未然に防ぐとともに、危険な状況や事故が起こった場合はヒヤリハット報告書、事故報告書を活用する事により、次の事故を未然に防ぐための対策を講じました。今年度は利用者の事故等ありませんでした。

6. 業務継続計画

利用者に対するサービスの提供を持続的に実施するため、感染症や非常災害時発生時に早期の業務再開を図るための計画を作成し、職員に周知するとともに、感染症対策においては感染症の予防、まん延防止のための対策委員会を定期的に行い、必要な研修及び訓練を定期的実施することができました。

7. その他

- 1) 事業所周辺における青少年スポーツ活動、学校関係の催しには積極的に協力を行い、地域の青少年育成事業に貢献するよう心がけます。
- 2) 実社会の疑似体験の一環として、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染状況を考慮しながら、利用者同士の懇親や慰労の場として、花見や忘年会などの行事を実施し、利用者の皆様に参加していただくことが出来ました。

職員異動状況 (令和8年3月31日 現在)

職種	期首	採用・異動	退職・異動	期末
管理者	1	0	0	1
サービス管理責任者	1	0	0	1
職業指導員	4	0	0	3
生活支援員	4	2	1	4
賃金向上達成指導員	8	3	5	7
目標工賃達成指導員	1	0	0	1
事務員	1	0	0	1

【退職及び異動】

賃金向上達成指導員	車崎 里奈	令和7年6月30日(退職)
賃金向上達成指導員	大石 真愛	令和7年7月31日(退職)
生活支援員	鳥巢 多恵子	令和7年11月30日(退職)
賃金向上達成指導員	坂本 夏音	令和8年1月31日(退職)
賃金向上達成指導員	東司 晃奈	令和8年3月31日(契約満了)
賃金向上達成指導員	吉村 紗羽	令和8年3月31日(契約満了)

【採用及び異動】

生活支援員	原 直美	令和7年4月1日(採用)
賃金向上達成指導員	今村 百花	令和7年7月1日(採用)
生活支援員	三浦 あかね	令和7年11月16日(採用)
賃金向上達成指導員	吉村 和奏	令和8年2月1日(採用)
賃金向上達成指導員	向 裕也	令和8年3月1日(採用)

就労継続支援A型利用者異動状況 (令和8年3月31日 現在)

	期首	採用	退職	期末
療育手帳保持者・男性	6	0	0	6
療育手帳保持者・女性	2	0	1	1
精神障がい者手帳保持者・男性	3	0	0	3
精神障がい者手帳保持者・女性	0	0	0	0
身体障がい者手帳保持者・男性	0	0	0	0
身体障がい者手帳保持者・女性	0	0	0	0
自立支援医療受給者証保持者	2	0	0	2

就労継続支援B型利用者異動状況 (令和8年3月31日 現在)

	期首	利用開始	利用終了	期末
療育手帳保持者・男性	4	0	1	3
療育手帳保持者・女性	2	1	1	2
精神障がい者手帳保持者・男性	3	0	0	3
精神障がい者手帳保持者・女性	8	0	0	8
身体障がい者手帳保持者・男性	1	0	1	0
身体障がい者手帳保持者・女性	0	0	0	0
自立支援医療受給者証保持者	0	0	0	0

令和7年度 研修関係実績表

社会福祉法人 悲田院 SunSun

月 日	参加職員	研 修 名	研 修 会 場
5月 30日	三 苦	相談支援従事者初任者研修	オンライン
7月 17日	野中	食中毒予防講習会	伊都文化会館
7月 28日	東司	接遇研修	オンライン
11月 1日 2日	野中	サービス管理責任者更新研修	南近代ビル
11月 11日	東司	発達障がいの理解と支援研修	糸島市健康福祉センターふれあい
11月 18日	麻生	メンタルヘルス研修	オンライン
12月 18日	野中	糸島市スマイルネットワーク 組織マネジメント研修	二丈苑
1月 30日	三 苦	就労支援セミナー	TKPガーデンティ
2月 6日 7日	三 苦	サービス管理責任者基礎研修	博多国際展示場&カンファレンスセンター